

## 女性懇談会進捗状況(阿木地区)

※ 懇談会で出た質問全てが掲載されているわけではありません。

※ 答弁者の役職名は開催当時のものです。

### 予防接種への助成

平成 22 年度

健康医療課 1084

#### 質問 (阿木地区住民)

・恵那市は今年度から1回1,500円の負担になったので中津川市も助成して欲しい。  
 ・ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんのワクチンにも助成してほしい。  
 ・中学生の接種、市内の病院に限られているので阿木診療所や恵那市の病院でも受けたい  
 ・健康福祉会館での接種も遠いので会場を分散して、番号札制ももっといい仕組みにしてほしい。

#### 答弁 (市長)

△

・インフルエンザ予防接種について検討した。  
 ・ヒブワクチン、子宮頸がんワクチンも検討した。病気の重篤度、子どもの将来に影響があるものなどからやるということで、まず、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチンから助成する。  
 ・子宮頸がんワクチンなどは国の方向も見ながら、病気の重さ、後遺症の重さから医学的に判断してやっていく。  
 ・医療機関、場所の話はここでは即答できないので健康福祉部のほうに持ち帰って検討したい。また、場所の問題は利用者数とか医師の手当てなども考慮しなければならない。  
 ・基礎的な部分は同じサービスを受けられるようにしたいが、全体的なバランスも考え、どういう形がいいか議論していきたい。

#### 実施済・実施中の事項

■

・平成22年度インフルエンザ予防接種の助成については、65歳以上の高齢者の方は、1回1500円の自己負担で接種できるよう助成を行っています。  
 ・平成22年度住民税非課税世帯については、住民税非課税世帯であることを確認し、新型インフルエンザ予防接種費用助成の申請を行うことで助成券を発行し世帯員全員について無料で接種して頂いています。  
 ・平成23年度から中学生の予防接種(麻しん・風疹・ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチン)は、恵那市の病院(恵那医師会会員)で接種できる体制になっています。  
 ・子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン接種、小児用肺炎球菌ワクチン接種については平成23年度から予防接種を行っていて個人負担額については無料で実施しています。  
 ・阿木診療所での接種については、常時人がいないことから薬剤管理の面で課題があり現在実施は考えていません。  
 ・健康福祉会館での集団予防接種については現状の実施方法で実施します。番号札制についても現状の方法で行います。  
 ・子どものインフルエンザ(1歳から中学3年生)については検討を行ってまいりましたが今年度は10月17日から12月17日の間に自己負担1回1500円で接種できるよう事業を行います。

#### 今後の計画等

予定日

### 未満時保育の実施

平成 22 年度

幼児教育課 1087

#### 質問 (阿木地区住民)

・自分自身、専業主婦で3人の子育てをしてきたが、自分や子ども達の通院などの際、一人では無理な時もあり、助けてもらえる場所があると良かった。  
 ・働くお母さんも恵那や岩村や坂本に子どもを預けているので阿木に未満時保育と一時預りがほしい。

#### 答弁 (市長)

△

・未満時保育の要望があることは認識している。子育てのあり方も大事にしたいが、家庭の事情もある。社会でどう解決するか課題。  
 ・一時預かりは必要と認識している。

#### 実施済・実施中の事項

△

学校規模等適正化委員会の答申を受け、園児数の減少など諸症状の推移をとらえ「小学校、幼稚園保育園の規模等適正化」基本計画(素案)を移動教育委員会や地域の関係者への説明会を実施しました。今後、地元の意見を聞きながら実施計画を策定します。  
 現在一時預かりは「さくら保育園」「東さくら保育園」「西保育園」「高山保育園」が実施していますので、園の状況によりますが、預け入れの相談が出来ます。市内の保育園全体を見ながらサービスの充実を図ります。

#### 今後の計画等

基本計画を策定後それをもとに、地域の方々が必要なサービスについて協議しながら地域別実施計画案を作っていきます。

予定日

## ファミサポ阿木支部を

平成 22 年度

阿木事務所 1088

### 質問 (阿木地区住民)

・子育てが一段楽するので、今度は地域の人のお手伝いをしていきたい。嫁いできてから人とのつながりなど、わくわく広場などで地域の人の温かさを感じてきた。  
 ・現時点のファミリーサポートセンターの利用状況があるかと、阿木支部の立ち上げには、何か支障があるか。

### 答弁 (市長、阿木所長)

・ファミサポは勤労者のサポートをメインにしており枠がある。対象、利用目的を広げている。特に交通弱者に拡げていくことを検討している。  
 ・助け合うという点で人と人とのつながりがいい形。  
 ・阿木では区長会を中心にいきいきネットワークで「わくわく広場」も入って地域全体で取り組んでいただいているので、その中で位置付け、市も支援し取り組んでいきたい。  
 ・育児サポート会員6名、利用会員1名、介護サポート会員7名、利用会員42名、利用件数176件。  
 ・阿木支部の立ち上げにはコミセンとして全面的に支えていきたい。  
 ・いきいきネットワークでもわくわく広場の支援も考えている。

### 実施済・実施中の事項

H22.12.20 担当課との協議を行いました。  
 H23. 2. 3 担当会と打合せを行いました。  
 H23. 2.21 区長会民生部会にて素案を検討。ネーミングを「ほけっと」に決定。  
 H23. 3.24 区長会民生部会にて予算と募集チラシを作成しました。  
 H23. 4.25 市ファミリーサポートとの打合せ。  
 H23. 4.26 区長組長合同会議にて開設に至る経緯と募集の説明を行い承認を頂きました。  
 H23. 5.28 民生児童委員に協力依頼をしました。  
 H23. 6. 1 阿木独自の子育て支援事業「ほけっと」の開始。  
 同時に会員の登録を開始しました。

### 今後の計画等

予定日

## UIターン住宅の条件撤廃について

平成 22 年度

建築住宅課 1090

### 質問 (阿木地区住民)

・UIターン住宅は晩婚化しているので35歳という年齢制限は厳しい。5年という期限もお金を貯めるのは難しいし、同居も難しいので出て行ってしまったら元も子もない。  
 ・条件の撤廃と、住まないと分からないので気軽に入れる市営住宅の建設をしてほしい。

### 答弁 (市長)

・本来は中山間地に人が住まないのは国の政治の貧困、県もやってない。フランスでは少子化に対して政策をとって少子化を食い止めた。  
 ・高校の統合によって高校生の通学費用も嵩むことになった。高校の義務教育化が進んでいるから通学費用を助成する。本来は教育の面は市ではなく、国県レベルでやるべきことだが、ないので市でやる。  
 ・住宅については国や県が施策をうってこないところを市として独自に取り組んでいる。  
 ・今の時点では、UIターン住宅制度を運用していき、検証をしていく。

### 実施済・実施中の事項

・UIターン者用住宅の整備の状況  
 整備済:神坂6戸、阿木8戸、加子母6戸、山口6戸  
 整備中:川上6戸(平成23年度)  
 ・阿木地区UIターン者用住宅入居者とがやがや会議を開催し意見交換を実施しました。(2010.7.8)  
 ・年齢制限の根拠=UIターン者用住宅は若年層の地域定住という観点から整備している市営住宅です。平均初婚年齢、第1子出生時の母親の平均年齢を勘案し30歳前後の世代を入居者のターゲットとしました。また、持ち家世帯率は35歳頃から上昇するため、35歳の年齢制限を設け、地域定住につなげる施策としています。  
 ・UIターン者用住宅の建築は平成20年度から始まり、現在も必要な地域に整備を進めている現状です。他の市営住宅の建設を検討する前に、この施策の検証をすることが必要と考えます。

### 今後の計画等

予定日

## 懇談会の開催について

平成 22 年度

広報広聴課 1364

### 質問 (阿木地区住民)

・地域事情の違う地区の坂本との開催も大事だが、同じ地域事情の地区との開催もしてほしい。

### 答弁 (市長)

なし

△

### 実施済・実施中の事項

・市政に女性の声を反映させていただくため、地域を越えた市の政策に意見をいただくことを目的に開催させていただいています。  
・女性が意見を述べやすい環境を整えるため、開催場所までの移動、参加者数などを考慮し、開催場所を設定させていただいていますので、現状のブロックの変更はしない考えです。  
・今後、アンケートなどの結果で同様のご意見が多数を占める場合は検討します。

×

### 今後の計画等

予定日

## 阿木診療所について

平成 21 年度

総務人事課 617

### 質問 (阿木地区住民)

診療所のみしか医療機関がないので更に充実をしてほしい。また建物が古いので新築できないか。備品等も適切なものに替えてほしい。

### 答弁 (市長)

優先順位をつけて、医師の方とも相談しながら改善していきたい。

△

### 実施済・実施中の事項

・備品等については診療所の要望を確認して配布しています。

●

### 今後の計画等

・将来の病院と診療所のあり方を明確にする中で優先順位を付け改善していきます。

予定日

## 阿木診療所について

平成 21 年度

総務人事課 620

### 質問 (阿木地区住民)

恵那市から医師が2日派遣されているが、中津川市民病院からも派遣してもらい日にちを増やしてもらえないか。

### 答弁 (市長)

医師の派遣については大学病院との兼ね合いもあり難しい、問題があることは認識しているので努力していきたい。

△

### 実施済・実施中の事項

名古屋大学病院、総合診療科と協力・連携し、平成23年4月から市に地域総合医療センターを設置し、阿木診療所へ毎週火曜日に医師を派遣し、診療日をこれまでの週2日から3日に増やしています。

■

### 今後の計画等

予定日

## 防災無線について

平成 21 年度

防災安全課 624

### 質問 (阿木地区住民)

サイレンの設置等の調査結果は出ているのか。

### 答弁 (市長)

H21年度中に結果が出るように進めている。その結果を受けての次の計画も進められるよう指示している。

○

### 実施済・実施中の事項

モーターサイレンについては、サイレン音が市内居住地域をカバーするのに必要な本数を概ね確定しました。  
平成23年度は無線整備のための設計業務を実施し、モーターサイレン等の設置を行います。(蛭川地区・中津川地区の一部)

●

### 今後の計画等

平成24年度～平成26年度にかけて防災行政無線設備の古い順に順次整備を行います。

予定日

## 学童保育の補助について

平成 21 年度

幼児教育課 753

### 質問 (市民)

利用する児童数で補助率が決定されるのでなく、地域全体の児童数に対してどれだけの児童が利用するかという割合で、あるいは県の補助がない部分を市で補助して頂きすべての児童と親さんが安心して公平に利用できることを提案します。

### 答弁 ( )



### 実施済・実施中の事項



平成22年3月、阿木事務所を通して下記のとおり回答しました。  
・学童保育所の運営については、5人以上の登録児童数が確保できれば人数に応じて段階的に委託料として支援します。  
・備品購入や家賃補助についても他の学童と同様の支援をします。  
・学童保育所の開設につきましては、保護者の皆さまと連絡を取りながら進めます。

### 今後の計画等

・運営母体となる「保護者会」を組織していただき、具体的な検討を始めたいと考えています。

予定日 2012/4/1

## 居住する為の負担金などの金銭的問題

平成 21 年度

水道課 754

### 質問 (4区市民)

住居の新築または移住する為には住宅の整備が不可欠であります。場所によって上水道などに新規加入するには上水を敷地内に引くための負担金が700万円(この方の場合)ほど必要と聞いています。  
若者が住宅購入のために多大な借入れをする上に、負担金があるとすれば他の地域に出ていく気持ちになることも予想されます。不況の状況で多額の借金を抱えることへの不安を少しでも解消するため、負担金を軽減する施策を考えていただきたい。

### 答弁 ( )

持帰り事項



### 実施済・実施中の事項



水道工事負担金は、市簡易水道水道事業給水条例の第2条第2項により「配水管を布設していない地域であっても、給水装置を設備しようとする者が給水装置を設備しようとする場所までの配水管の布設工事の経費を負担する場合は給水できる」とされており、水道工事の費用は個人負担となっています。  
なお、平成22年2月にご本人に対して「回答①・②」を伝えており、ご本人は承知済みです。  
①お一人の負担では高額となるため同一地域の複数の宅造予定者と共同で工事を計画することで工事費の個人割合の軽減が図れる方法があること。  
②工事後の水道管は市への管理移管をお願いしており、移管後の漏水等の維持修繕は市で対応すること。

### 今後の計画等

予定日